

そんけい すべき ムスリム の みなさま！

ぜんのうのしゅ(スプハーナワタアーラー)は、あるアーヤをとおして「**われらはにんげんを、もっともうつくしいすがたにそうぞうした**」¹とつけておられます。

あいすべききょうだい、しまいのみなさん、すべてのひぞうぶつのうち、にんげんはもっともとういそんざいなのです。そうぞうされたすべてのそんざいのなかで、にんげんはもっともけだかく、すばらしいそんざいなのです。

いとをもってそうぞうされたわたしたちのこのじんせいにおいて、しょうがいもなくけんこうであるからといって、ほかのひとよりもすぐれているということにはならないのとおなじく、しょうがいがあるからといって、ほかのひとよりもおとつているということにはけつてなりません。たいせつなのは、わたしたちのたましいとこころです。このてんについて、よげんしゃムハンマド(かれのうえにしゅくふくとへいあんあれ)はつぎのようにかたっています。「**アッラーは、あなたのすがたかたちやふくそうをごらんになっているのではない。あなたのこころをごらんになっている**」。²

しんあいなるムスリム の みなさま！

アッラーのしと(かれのうえにしゅくふくとへいあんあれ)は、しょうがいのあるひとびとをそんちようし、とりわけちゅういをはらうことでしょう。にんたいづよく、おちつたこころでむきあうことにより、しょうがいはらくえんへといたるみちにおいてはむしろやくにたつだろうとのじよげんをのこしています。³ また、きょうしやムアッズインとして、あるいはごじしんがマディーナをはなれているあいだのかんとくしゃとして、しょうがいのあるものをしめいしてもいます。

しんあいなるしんこうしゃ の みなさま！

いまこそ、しょうがいをもつきょうだい、しまいをただしくりかいし、そんちようしていることをしめすことが、わたしたちひとりひとりのぎむとしてかかれています。かれらがいきやすくなるよう、かれらのかかえるこんなんをわたしたちがきょうゆうしなくてはなりません。りようできるしげんはさいだいげんにりようし、かんがえられるしゅだんはすべてもちいなくてはなりません。また、かれらをかなしませ、かれらのじんせいをふくざつにするようなことばはひかえなくてはなりません。ほんじつのきんようれいはいのホトバを、よげんしゃムハンマド(かれのうえにしゅくふくとへいあんあれ)のつぎのじよげんをもっておわります。「**めのみえないもののてをひくことはサダカである。よわいものをたすけることはサダカである。こえなきものが、じぶんについてかたるのをたすけることはサダカである**」。⁴

¹ Tin, 95/4.

² Muslim, Birr, 33.

³ Bukhari, Marda, 7.

⁴ Ibn Hanbal, V, 152.